

# 生徒心得①（1日の流れについて）

## 《欠席・遅刻・早退・見学》

- ① 事前に欠席・遅刻・早退・見学が分かっている場合や当日に欠席や遅刻などをする場合は保護者の方から学校に「マチコミで送られたQRコード（URL）」を通じて、欠席等連絡聞き取り票に記載をします。
  - ② 遅刻して登校した場合、職員室の先生に遅刻して登校したことを報告します。その後、授業に参加します。
- ※ 部活動の欠席連絡についても、普段の欠席連絡と同様に、「マチコミで送られたQRコード（URL）」を通じて、欠席等連絡聞き取り票に記載をします。

## 《登校》

- ① 下駄箱は上履きと外履きを分けて置きます。上履きや外履きは、かかとを下駄箱のふちに揃えて、きれいに置きます。※部活動で使用する靴は、下駄箱には入れるか各自で管理をします。
  - ② 教室のロッカーに入れたかばんのファスナーをきちんと閉めます。
  - ③ 8：10に登校完了です。チャイムが鳴るまでにかばんをロッカーにしまい、**読書の準備をし、1時間目の授業の服装**で着席します。
- ※ 朝読書は、不要なものは机などには出さずに整然とした雰囲気で行います。
- ④ 学校生活に必要な物やお金は持ってきません。
- ※ やむを得ず持ってきた貴重品などは、登校後、すぐに先生に預けます。
- ※ 不必要な物を持ってきてしまった場合、その場で先生が預かり、保護者の方に返却します。

## 《授業》

- ① 授業開始チャイムの**2分前には授業の準備を終えて、着席**をします。
  - ② 授業は原則、制服で受けます。午後に清掃がある場合、昼休みに着替えて、午後の授業は体操服やジャージで受けます。ただし、朝清掃の場合、午後の授業については教科にあった服装で受けます。
- ※ ジャージでの授業が挟まれた授業に関しては、授業開始までに教科担任の先生に許可を得ることで、体操服ジャージで受けることが可となる場合もあります。
- 【 例1 ①体操服の授業      《②制服の授業》      ③体操服の授業      】
- ③ 体育を見学する場合は、保護者に見学カードを書いてもらい、教科担任の先生に渡します。ただし、やむを得ず見学する場合には、担任の先生に相談し、見学カードを書いてもらい教科担任の先生に渡します。
  - ④ 授業終了後、教科係は教科担任の先生に次の授業の連絡を聞きます。教科係は、帰りの会までに学級の背面黒板に次の授業の持ち物や活動場所を書きます。

## 《休み時間》

- ① 授業準備やトイレ、特別教室への移動時間にあてます。（遊ぶことが目的の時間ではありません）
- ② ベランダには出ません。自分の教室以外の教室には入りません。教室の出入り口付近にはたまりません。
- ③ 他学年のフロアには原則、行きません。（特別教室への移動の場合は除きます）

## 《昼食》

- ① **4校時終了5分後**には、手洗いを済ませて着席します。
- ② 給食終了のチャイムが鳴るまでは教室の外に出ません。何かある場合には、担任の先生に声をかけます。

## 《昼休み》

- ① 中庭・アスファルトで遊んだり、体育館で野球やサッカーなど、物を壊したりしてしまう危険のある遊びは絶対に禁止です。また、硬式野球ボールの使用も絶対に禁止です。
  - ② ボール遊びは、グラウンドや体育館で行います。学年ごとに、曜日を分けて体育館を開放していますが、先生がつけない場合は開放しません。
  - ③ ボールや用具は貸出用または自分自身の物を使用し、部活動や授業で使う用具は使いません。
- ※ 体育館のステージでは遊んだりしません。また、体育館のボールや道具も使用しません。

## ＜貸出方法＞※職員室の入退室について十分気をつけます。

- ① 昼休み開始のチャイムが鳴ってから、職員室へ借りに行きます。
- ※ 複数で遊ぶ場合等には、代表生徒がボールを借りに来るようにします。
- ② 借りたい物を貸出管理ファイルに記入してから借り、昼休み中に職員室へ返却します。

## 《清掃》

- ① 上は体操服またはジャージ（ジャージの下は、白Tシャツ・ワンポイント可）、下はジャージまたはハーフパンツに着替えて清掃を行います。
  - ② 2分前には着席し、号令をして机を移動する。開始のチャイムで清掃場所に移動し、清掃を行います。
  - ③ 清掃終了のチャイムできれいに後片付けを行い、点検とあいさつをしたら教室に戻ります。
- ※ **「黙働清掃」になるので、移動などの時間も「黙働」を心がけましょう。**

## 《放課後》

- ① 帰りの会終了後は、すぐに帰宅します。また、部活動に所属している人は、すみやかに活動場所に移動します。※帰りの会終了15分後までには門の外へ出ます。（週直も含む）
  - ② 用事のない人は校舎内に残りません。（他の教室や他学年のフロアにも入りません）
  - ③ 再登校以外で外出する時には、私服に着替えるようにしましょう。
- ※ **再登校など、改めて学校に来るときには、制服もしくは、ジャージなど学校の服装で来ます。**

## 《下校》

- ① 最終下校時刻15分前のチャイムですみやかに活動を止め、下校の準備をします。
- ② 部活動後は各部の活動の服装で下校することもできます。
- ③ 交通ルールやマナーを守って下校し、危険な行為（並進やヘルメットを取るなど）や他の人に迷惑をかける行為（友達の家・公園・道路で集まるなど）は絶対に禁止です。

# 生徒心得②（身だしなみについて）

## 《制服》

- ① 上はAタイプ制服（学ラン、ジャケット、ブレザー、ベスト）またはワイシャツ（ブラウス）で生活します  
Bタイプ制服（ジャケット、ブレザー、ベスト）またはワイシャツ（ブラウス）で生活します。
- ② 下はAタイプ制服（ズボン（スラックス））、Bタイプ制服（スカート）を着用します。

※ 旧制服と新制服の混在は認めていません。

【Aタイプ制服】※上着の袖やズボン（スラックス）はまくりあげたりしません。

学ラン：カラーを着用し、上着のボタンは全て閉めます。式典<入学式・始業式・終業式・修了式・卒業式>ではホックも留めます。ベルトを着用し、全体的にだらしない着方にならないようにします。

ジャケット：上着の第1ボタンは閉めます。式典<入学式・始業式・終業式・修了式・卒業式>ではすべて閉めます。ワイシャツ（ブラウス）は第1ボタンまで閉めて、ネクタイもしくはリボンを着用します。

ブレザー・ベスト：式典<入学式・始業式・終業式・修了式・卒業式>では着用し、ボタンはすべて閉めます。ブレザーを着用しない場合は、ベストを着用しないこともできます。

【Bタイプ制服】※スカート丈はひざが隠れるよう着用します。

ジャケット：上着の第1ボタンは閉めます。式典<入学式・始業式・終業式・修了式・卒業式>ではすべて閉めます。ワイシャツ（ブラウス）は第1ボタンまで閉めて、ネクタイもしくはリボンを着用します。

ブレザー・ベスト：式典<入学式・始業式・終業式・修了式・卒業式>では着用し、ボタンはすべて閉めます。ブレザーを着用しない場合は、ベストを着用しないこともできます。

【その他】※校内では名札を着用し、校外に出る場合は名札は着用しません。

衣替え期間などは設けていません。各自の判断で着用する制服は選びましょう。ネクタイやリボンの着用については、ワイシャツ（ブラウス）のみの場合でも着用します。

## 《かばん》

- ① 両肩にかけるリュックサックを通学かばんとして使用します。名札やはちまきを付けたり、落書きをしたりすることは禁止です。
- ② キーホルダーを付ける場合は、安全のため、必要以上に大きくない「目印となる程度」とします。
- ③ 部活動用のかばんを持つてくることもできます。

## 《くつ》

- ① 授業に支障のない物を着用します。色の規定はありませんが、ハイカットシューズは禁止です。

## 《頭髪》

- ① 爽やかで清潔感があり、授業・実技・学校生活において安全面や学習面で支障が出ない長さ・形とします。
- ② 脱色や染色をしたり手を加えたりするなど、地毛に人工的な変化を加える加工は行わないものとします。
- ③ 寝ぐせを直すなどのために整髪料を使用しても構いません。ただし、無香料の物とし、学校には持ち込みません。また、髪を固めたり、立たせたりするようなことを目的とした使い方はしません。
- ④ 肩より下にかかる場合は、華美でない色の髪留めでまとめます。

## 《インナー》

- ① ワイシャツ（ブラウス）の下には、体操服か白Tシャツ（ワンポイント可）を着用します。
- ② 白色以外のTシャツは着用することができません。
- ③ 体操服や白Tシャツの下に着用するものについては、えり付きやそでから出てしまうものは着用できませんが、色については特に決まりはありません。

## 《その他》

- ① 熱中症対策のため、水筒を持参したり、登下校の際に帽子を被ったりすることができます。
  - ② 緊急時を除き、学校生活（集団生活・公共生活）の場で大声を出したり、奇声を上げることはしません。
- ※ サイレントゾーン（南棟2階）は静かに移動し、過ごします。

## 《靴下》

- ① 色は白・黒・紺・灰色とします。ショートソックスまたはノーマルソックスを着用します。
- ※ ショートソックス：丈が短く、くるぶしが隠れるもの ノーマルソックス：膝とくるぶしの間までの長さ
- ※ くるぶしが見える丈のソックス（くるぶしソックス）は安全上の配慮から着用することはしません。

## 《防寒着》

【セーター・カーディガン・ベスト】

- ① 色は黒・紺・グレー・白に近いものとし、ハイネックは着ることができません。
- ② 上着の下に着用します。セーターやベスト、カーディガンだけを着て生活することはできません。
- ③ 上着の袖や裾から、なるべく出ないように着用します。

【タイツ・インナーなど】

- ① タイツの色は黒または紺で無地のものとします。肌がすべて隠れる長さのものを着用します。
- ② タイツ着用時に靴下は履かなくてもよいですが、指先まで覆われていないタイプを着用する場合は、靴下を履きます。
- ③ 体育の授業時にタイツを着用することはできませんが、集会や清掃など、体操服やジャージで活動するものについては、着用することができます。
- ④ 体操服・ハーフパンツで活動する際に、袖や裾から出ないように着用します。

【コート・ウィンドブレーカー・パーカーなど】

※ 原則、制服の上着やジャージを着用した上から防寒着は着用します。

- ① 色や形については特に決まりはありませんが、着用する場合には、服装の乱れや自己表現の場にならないように場面などを選び、登校に支障のないよう物を着用するようにしましょう。
- ② 通学時や活動する時に危険のないものにします。フード付きの場合、被ったりはしません。
- ③ 原則、朝読書の始まりから帰りの会終了後までは着用しませんが、特別に指示がある場合はこの限りではありません。
- ④ 部活動で揃えたウィンドブレーカーなどを着用することができます。

【マフラー・手袋・ネックウォーマーなど】

- ① 色や形については特に決まりはありません。
- ② 朝読書の始まりから、帰りの会終了後までは着用しません。
- ③ 耳当てや耳をふさぐ物については、着用しません。

## 《ひざかけ》

- ① 授業中に羽織ることはしません。
- ② 休み時間や移動時に羽織ることや腰に巻くことはしません。
- ③ 個人ロッカーに保管します。
- ④ 色等の規定は特に設けません。
- ⑤ 貸し借りはせず、他の人の物には触りません。